

## GPW 奨学生報告書 2021 年度後期

平素よりお世話になっております。NPO 法人アクションの山本です。

2021 年度は最後の奨学生であるアリスに対する支援を実施しました。早速ですが、今年度の支援の様子と成果を下記の通りご報告させていただきます。

### 【アリスへの支援の様子と成果】

Velasco, Aris (12 年生)

アリスは今年度、義務教育過程の最終学年である中等教育後期過程の 12 年生(日本の高校 3 年生に相当)として学業に取り組みました。フィリピンでは依然として新型コロナウイルスの感染防止のための規制が続いており、今年度も昨年度に引き続き、対面での授業は基本的に実施されず、家庭学習用教材(モジュール)とオンライン授業を中心とした授業形態で授業が実施されました。(ただし、後期には一部学校に行き対面で受ける授業もあったとのことです。)

アリスが高校に入学してからの 2 年間、対面での授業は再開されず、モジュールやオンラインで授業が実施されました。モジュールやオンラインでの授業はアリスにとっては初めての経験で不慣れなことも多く、本当に大変だったと思います。モジュールやオンラインでの授業はわからない内容があったときにすぐに先生や友達に聞くことができなないのでとても大変だったとアリス自身も語っています。特に、苦手な教科である英語とフィリピン語でとても苦労したとのこと。しかし、そうした大変な環境での授業でしたが、わからないことがあったときはインターネットで調べながら解決していったそうです。一方で、高校の授業はとても学びが多く楽しかったともアリスは言っています。特に電気工学に関する授業が自分の興味とも重なり、非常に楽しかったそうです。電気工学の授業では対面での実技授業も実施され、電線について学ぶ実技授業では感電をしないように細心の注意を払う必要があったのでとてもドキドキしたと言っていました。また、対面での授業でクラスメイトと一緒に授業を受けることの楽しさを改めて実感したとも話していました。



卒業式の写真

モジュールでの授業は与えられた期限までに課題を完成させ提出をすればよいため、それに取り組む時間は各個人で決めることができますという特徴があります。そのため、アリスは家計を助けるためにホームセンターでのアルバイトの仕事をしながら学業に取り組んできました。ホームセンターでのアルバイトは重い荷物を運んだりする必要があるため肉体的にもとても大変な仕事です。しかし、アリスは「家族のために」をモチベーションとして、勉強と仕事両方に頑張って取り組み、成

績ではすべての科目で合格点を取り、無事に卒業を果たすことができました。卒業後の仕事も決まり、新しい仕事先で働いているとのこと。現在は、家族をサポートするために新しい仕事で働いていますが、もし機会があれば、将来大学に行き、自分の夢である警察官になるために必要なコースを専攻したいとも語っています。

アリスは中学生の時に、学校の授業になかなかついていくことができず留年をしてしまったという経験を持っており、どちらかという勉強が苦手、学問に対しての取り組みは消極的であるというようなタイプの子でした。しかし、そのようなアリスが高校に入学してからは非常に熱心に勉強に対して取り組むようになりました。もちろん英語など苦手な科目もありましたが、苦手な科目からも逃げ出さず忍耐強く取り組むことができるようになりました。また、電子工学の授業など非常に楽しいと思える授業に出会えたこともアリスにとって勉強への向き合い方が変わった要因のひとつとなったように思います。高校2年間で勉強に向き合う姿勢が変わったことは本当にアリスの大きな成長だと思います。また、高校2年間で成長は、今後アリスが社会に出ていくうえでの大きな力になるのではないかと思います。

#### 【今年度の支出報告】

項目	金額
モジュール代 / 学用品 / スクールプロジェクト費	PHP 2,880
インターネット費用	PHP 5,361
交通費	PHP 900
卒業式費用	PHP 1,900
合計	PHP 11,041
2021 年度予算	PHP 11,860
残高	PHP 819

最後になりましたが、アリスから GPW のみなさまへのメッセージを預かっておりますので、お伝えいたします。

-----  
Hello po, I am Aris Velasco.

I would like to thank my sponsors who helped me to sustain my educational needs. Thank you for providing me with an allowance needed for my projects at school. The allowance you gave

me has helped me to have money that I can use also for transportation. Although the pandemic is difficult, you still helped me to have an internet connection so I can still join the classes. I hope you all can continue to help other students like me who wanted to finish their studies but due to poverty had difficulties sustaining them. Once again, thank you so much.

(こんにちは、私はアリスです。私が学校に通えるようにサポートをしていただき本当にありがとうございます。学校に通うのに必要な費用を援助していただきありがとうございます。学校に通うための交通費など本当に助かりました。また、インターネット代のサポートのおかげで新型コロナウイルスのパンデミックの状況下でも授業に参加することができ本当に助かりました。みなさんがこれからも私のように学校に行きたくても経済的な事情によりそれが困難になっている子ども達に対してサポートを続けていただければ本当に嬉しく思います。改めて、本当にありがとうございました。)

---

アリスをもちまして、ご支援いただき奨学生すべてが卒業となりました。長期に渡ってご支援をいただき、誠にありがとうございました。賜ったご支援のおかげで、合計 8 名の子どもが大きな目標である高校卒業を果たすことができました。卒業した子どもたちは、大学に進学、仕事を見つけ就職、子どもを産み母親として頑張っているなど、それぞれ自分たちの人生を力強く切り開いています。すべての奨学生が、「もし奨学支援を受けていなければ高校を卒業することができていなかったと思うので、奨学支援を受けることができ、そしてそのおかげで高校を卒業することができ本当に良かった」と語っています。奨学生たちは学校に通うことにより、たくさんのことを学び、経験することができました。学校で得た知識や経験は間違いなく奨学生にとって非常に大きな財産になったと思います。フィリピンの子どもたちに対して長期に渡り大きなご支援をいただいたこと、当会スタッフ一同改めて感謝申し上げます。

報告者：山本 浩平（フィリピン事務局）

2022 年 8 月 5 日